

福生市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書 (概要版)

[調査の目的]

就学前児童及び小学生の教育・保育に関する現在の利用状況と利用希望を把握し、子ども・子育て支援法に基づく、5年間（平成 32～36 年度）を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」の期間内における地域の実情に応じた計画策定を行うため、アンケート調査を実施しました。

このアンケート調査の結果については、今後の施策の検討に活用し、新たな計画策定に反映させていきます。

[調査の概要]

(1) 調査対象者

- | | |
|---------------------------|---------|
| ① 就学前児童の保護者 | 1,200 人 |
| ② 小学生の保護者及び小学 4 年生～6 年生本人 | 1,200 人 |
| ③ 中学生の保護者及び本人 | 600 人 |

(2) 調査方法

- ・就学前児童及び小学生、中学生の保護者にそれぞれ異なる調査票を郵送により配布・回収
- ・小学 4 年生～6 年生本人、中学生本人には保護者調査票と一緒に郵送により配布・回収

(3) 抽出方法

平成 30 年 10 月 1 日現在の福生市在住 0 歳～14 歳までのお子さんを住民基本台帳から無作為に抽出

(4) 調査期間

調査票の発送 平成 30 年 11 月 7 日（水）
 調査票の回収 平成 30 年 11 月 30 日（金）
 ※礼状兼督促を 1 回発送

(5) 回収結果

	配 布 数	回答者数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,200 人	576 人	48.0%
小年生の保護者	1,200 人	619 人	51.6%
中学生の保護者	600 人	300 人	50.0%
計	3,000 人	1,495 人	49.8%

参考：平成 25 年度調査結果

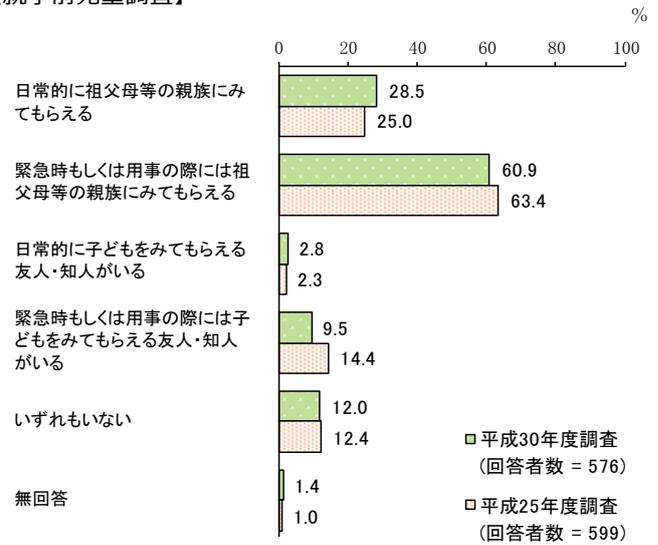
	配 布 数	回答者数	有効回答率
就学前児童の保護者	1,200 人	599 人	49.9%
小年生の保護者	600 人	337 人	56.2%
計	1,800 人	936 人	52.0%

1 お子さんをご家族の状況について

子どもをみてもらえる親族・知人

- ・日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいるかについて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が60.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が28.5%、「いずれもない」の割合が12.0%となっています。
- ・平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

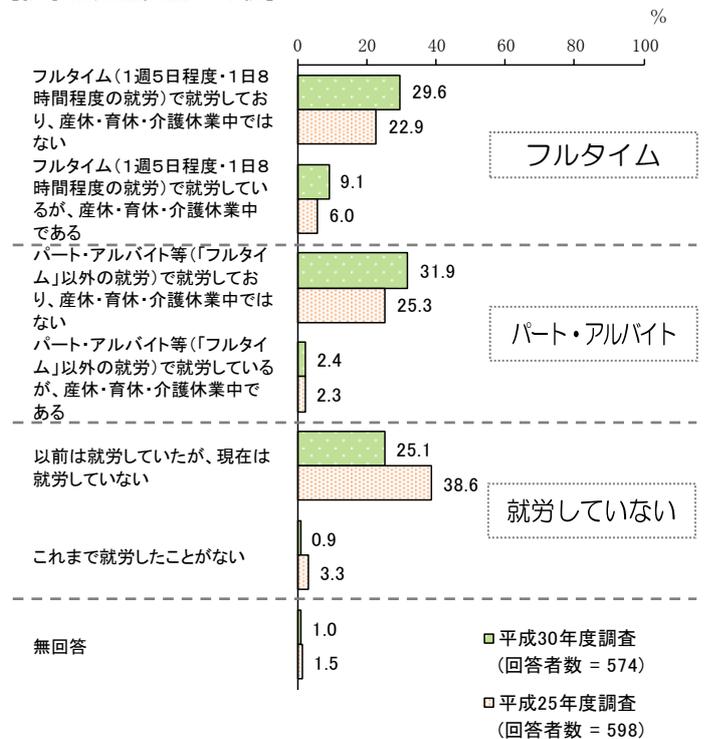
【就学前児童調査】



母親と父親の就労状況

- ・宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況について、母親は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.9%、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない」が29.6%となっています。
- ・平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。
- ・父親は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない」が94.6%となっています。

【就学前児童調査・母親】

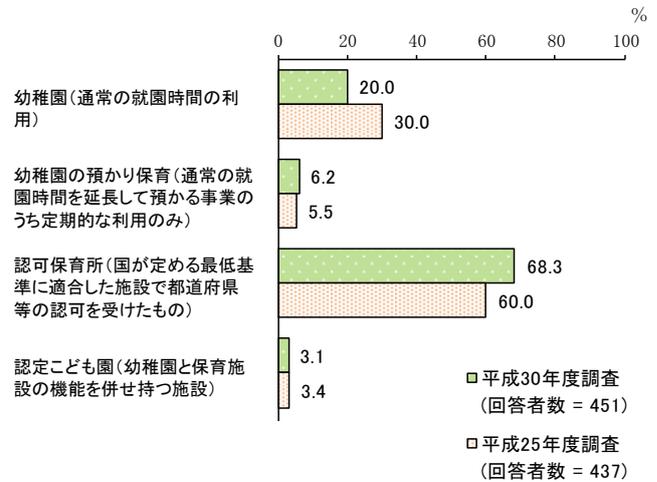


2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

平日利用している教育・保育事業

- 平日どのような教育・保育の事業を利用しているかについて、「認可保育所」の割合が68.3%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が20.0%となっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が減少しています。

【就学前児童調査】

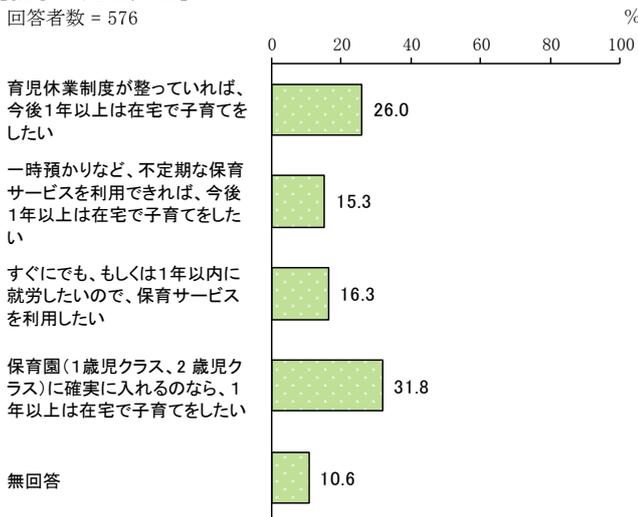


※主な施設・事業を抜粋しています。

0歳児のときの考え

【就学前児童調査】

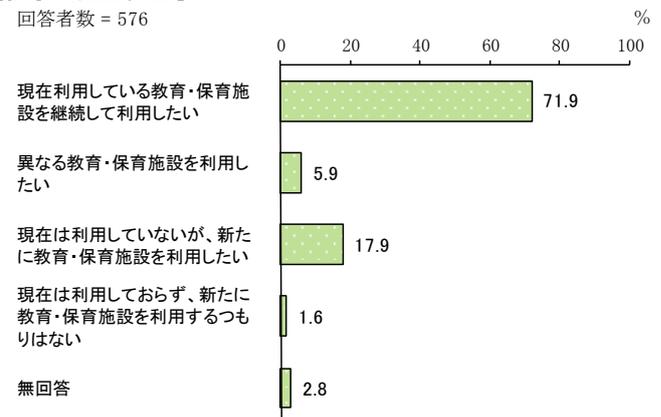
回答者数 = 576



無償化による教育・保育施設の利用希望

【就学前児童調査】

回答者数 = 576



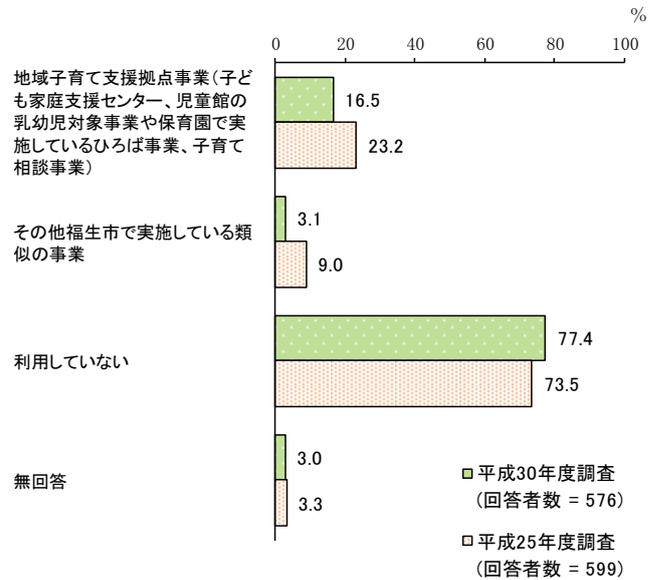
- 0歳児だったときのことを振り返り、あなたの考えに最も近いものは、「保育園(1歳児クラス、2歳児クラス)に確実に入れるのなら、1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が31.8%と最も高くなっています。
- 幼稚園・保育所・認定こども園等の無償化が実施された場合、「現在利用している教育・保育施設を継続して利用したい」の割合が71.9%と最も高くなっています。

3 地域の子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業の利用状況

- 地域子育て支援拠点事業を利用しているかについて、「利用していない」の割合が77.4%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が16.5%となっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業」「その他福生市で実施している類似の事業」の割合が減少しています。

【就学前児童調査】

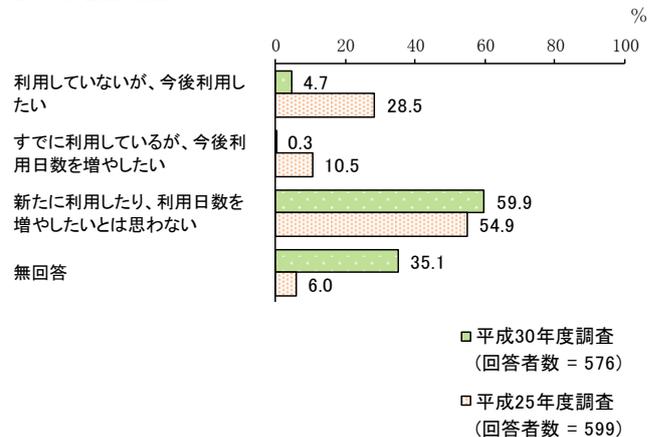


- 「地域子育て支援拠点」…児童館の乳幼児対象事業や保育園で実施しているひろば事業、子育て相談事業です。

地域子育て支援拠点事業の利用希望

- 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思うかについて、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が59.9%と高くなっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が減少しています。

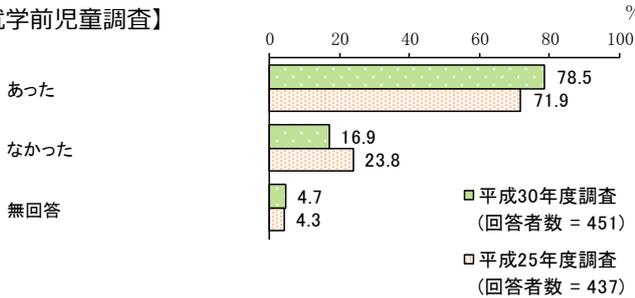
【就学前児童調査】



4 一時預かり等の短時間サービスについて

病気やケガで通常の事業が利用できなかった

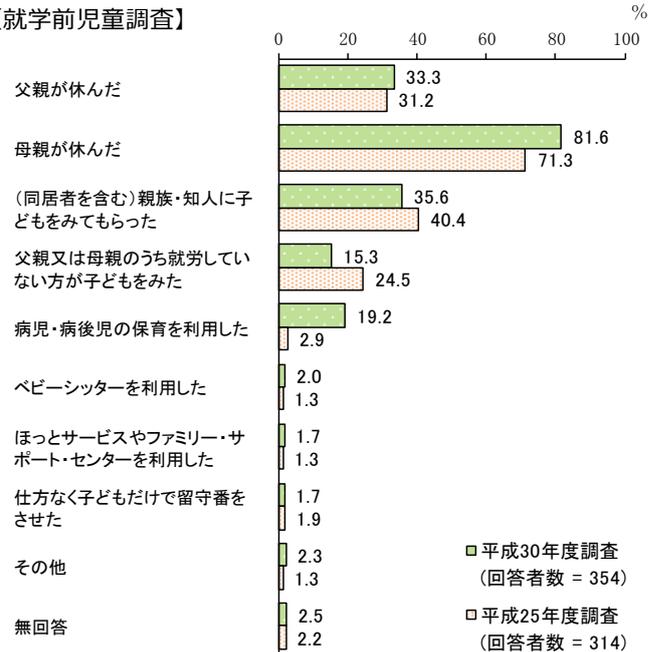
【就学前児童調査】



- 1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが「あった」の割合が78.5%となっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

主な対処方法

【就学前児童調査】

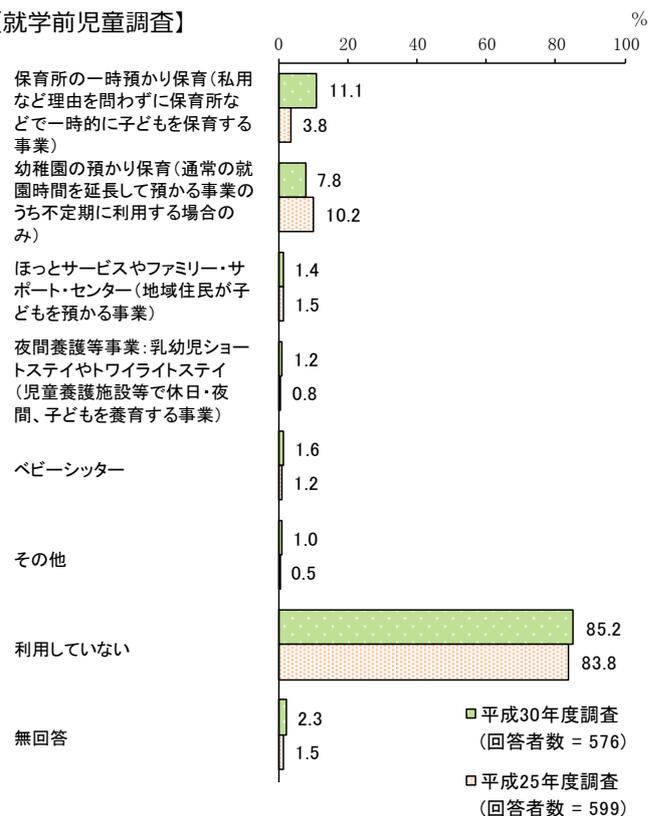


- お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として、「母親が休んだ」の割合が81.6%と最も高くなっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「母親が休んだ」「父親が休んだ」「病児・病後児の保育を利用した」の割合が増加しています。一方、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が減少しています。

不定期の教育・保育事業の利用

- 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はあるかについて、「利用していない」の割合が85.2%と最も高くなっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「保育所の一時預かり保育(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)」の割合が増加しています。

【就学前児童調査】

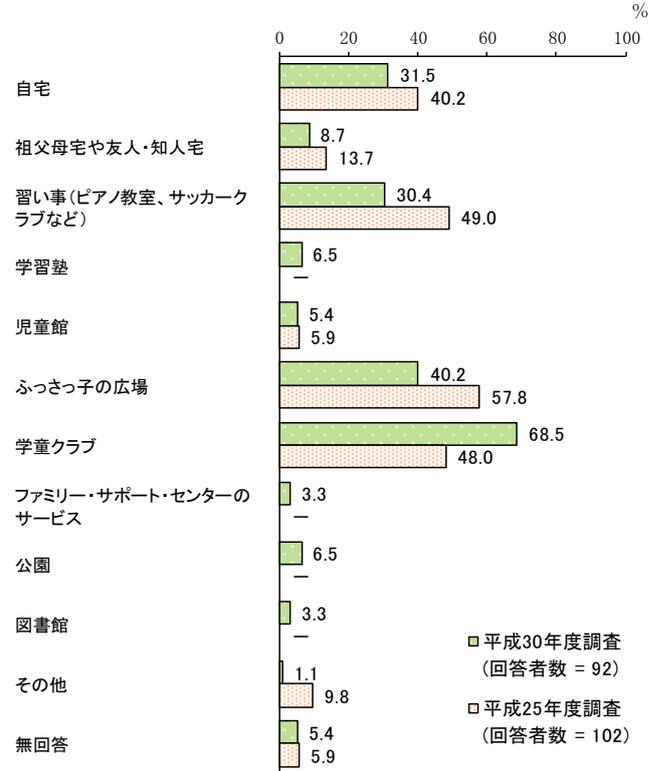


5 小学校就学後の放課後の過ごさせ方について

低・中学年（1～4年生）の希望

- お子さん（5歳）について、小学校にあがってからの放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、低・中学年（1～4年生）では、「学童クラブ」の割合が68.5%と最も高く、次いで「ふっさっ子の広場」の割合が40.2%、「自宅」の割合が31.5%となっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「学童クラブ」の割合が増加しています。

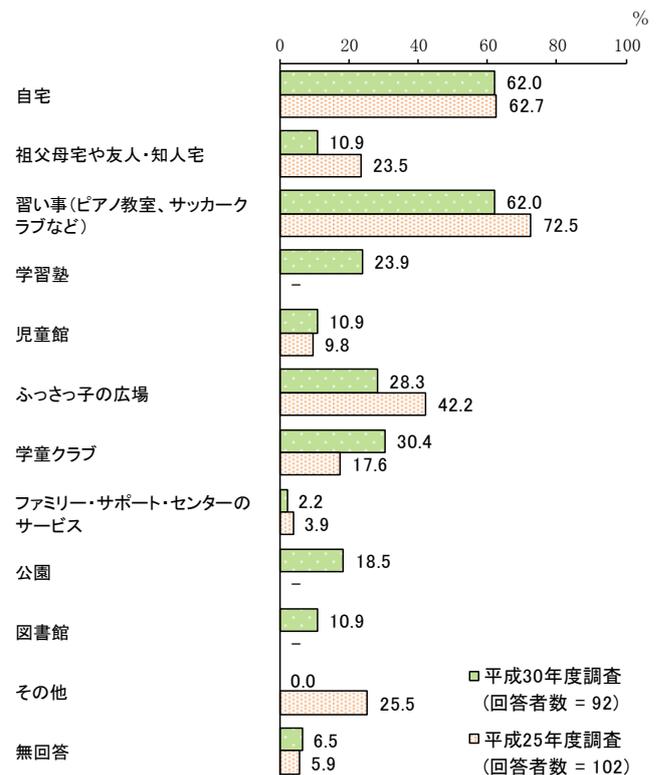
【就学前児童調査】



高学年（5～6年生）の希望

- お子さん（5歳）について、小学校にあがってからの放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、高学年（5～6年生）では、「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」の割合が62.0%と最も高く、次いで「学童クラブ」の割合が30.4%となっています。
- 平成25年度調査と比較すると、「学童クラブ」の割合が増加しています。

【就学前児童調査】



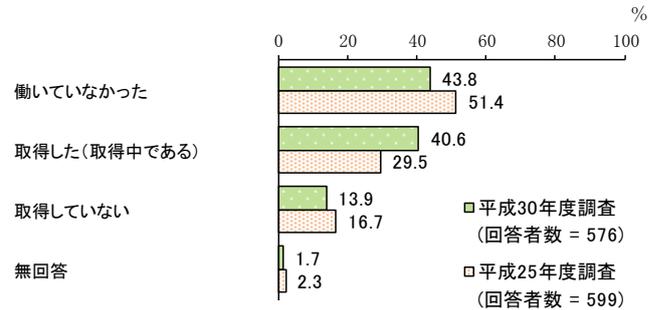
- 「学童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
- 「ふっさっ子の広場」…放課後に小学校内の施設や校庭を利用し、安全な見守りの中で、子どもが安心して楽しくすごせる「学び・体験・交流」の場です。

6 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

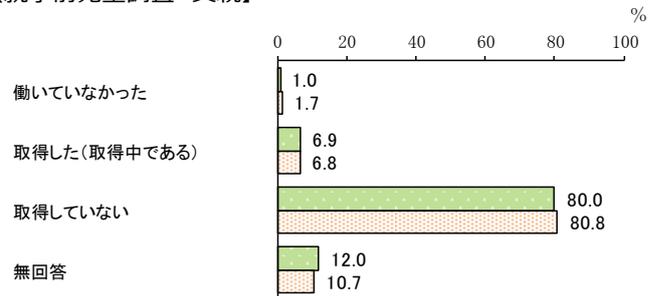
育児休業の取得状況

- 育児休業を取得した「取得した（取得中である）」の割合が母親は40.6%、父親は6.9%となっています。
- 平成25年度調査と比較すると、母親の「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。
- 母親の取得期間は、「301日～400日」の割合が28.2%と最も高く、次いで「201日～300日」の割合が17.1%、「101日～200日」の割合が11.5%となっています。

【就学前児童調査・母親】



【就学前児童調査・父親】



7 子ども本人調査について

若者向けに福生市に必要な場所

【小学生本人調査・中学生本人調査】

	件数	大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所	思いっきり身体を動かせる場所	気軽におしゃべりできる場所	自分のなやみ相談に乗ってくれる場所	趣味仲間が自由に集まれる場所	インターネットが自由に使える場所	静かに勉強したり本が読める場所	その他	特にない	無回答
小学生本人	296	16.2	54.7	25.3	9.8	32.8	25.7	29.4	11.8	7.8	3.0
中学生本人	300	18.3	45.7	20.3	4.3	30.0	29.3	19.3	12.3	14.7	5.3

- 若者向けにどんな場所がもっと福生市にあればよいと思うかについて、小学生本人調査では、「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が54.7%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が32.8%、「静かに勉強したり本が読める場所」の割合が29.4%となっています。
- 中学生本人調査では、「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が45.7%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が30.0%、「インターネットが自由に使える場所」の割合が29.3%となっています。

8 子育て全般について

子育てで不安や負担と感ずること

【就学前児童・小学生調査・中学生調査】

	件数	子どもの健康に不安がある	子どもの発育・発達に不安がある	子どもの食事や栄養に不安がある	子どもの教育に不安がある	学校での教育内容が変わってきていることに不安がある	子どものしつけに不安がある	子どもの友だちつきあいに不安がある	子どもの将来の進路について不安がある	配偶者の協力が少ない	配偶者と子育ての意見が合わない	子育てにかかる経済的な負担が大きい	子育てに理解してくれない	子育ての大変さを身近な人が手伝ってくれる人がいない	配偶者以外に子育てを	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない	住宅が狭い	相談相手がない	その他	不安や負担などを感じない	無回答
就学前児童	576	14.6	20.0	25.5	32.6	12.0	44.4	28.1	22.0	14.1	6.9	34.9	4.5	11.5	6.6	14.1	0.7	5.0	6.3	2.6	
小学生	616	9.3	17.5	13.3	34.4	12.0	29.2	35.6	33.1	10.2	5.8	36.0	2.4	5.8	1.9	10.1	1.6	4.4	9.9	2.8	
中学生	300	11.3	13.0	11.3	35.7	13.0	22.3	23.0	52.7	11.0	10.3	53.7	4.3	5.0	3.7	11.3	2.7	6.0	6.3	3.7	

子育てで必要な支援・対策

【就学前児童・小学生調査・中学生調査】

	件数	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	乳児の育児に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立	犯罪・事故の軽減	子どもを対象にした児童への支援	特別な支援を要する児童のための療育施設の設定	特別な支援を要する児童の不妊治療等の助成	その他	無回答
就学前児童	576	22.6	28.5	6.6	11.1	12.0	5.7	21.4	16.1	31.1	17.7	3.6	3.0	6.9	3.3	26.2
小学生	616	28.2	14.6	8.3	21.8	4.7	1.1	43.0	26.8	34.9	29.5	11.2	5.7	4.1	2.1	9.1
中学生	300	26.0	12.3	5.0	14.3	6.0	3.0	39.3	28.7	35.0	23.3	14.7	8.0	4.0	4.7	10.3

子育てしやすいまちか

【就学前児童・小学生調査・中学生調査（平成 30 年度調査）】

	件数	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	わからない	無回答	
就学前児童	576	26.9	46.7	9.9	3.0	11.8	1.7
小学生	616	22.6	46.9	12.0	3.9	12.0	2.6
中学生	300	21.3	40.7	12.0	5.3	15.7	5.0

【就学前児童・小学生調査（平成 25 年度調査）】

	件数	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	わからない	無回答	
就学前児童	599	17.5	46.4	15.5	6.0	12.4	2.2
小学生	337	12.8	50.4	15.1	8.0	12.2	1.5

- 子育てに関して、不安や負担などを感じることは、就学前児童調査では、「子どものしつけに不安がある」が最も高く、小学生調査及び中学生調査では、「子育てにかかる経済的な負担が大きい」が最も高くなっています。また、子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じているかについて、就学前児童調査では、「保育サービスの充実」が最も高く、小学生調査及び中学生調査では、「子どもの教育環境」が最も高くなっています。
- 福生市は子育てしやすいまちだと思いますかについては、“子育てしやすいまちだと思う”は60%を超えています。就学前調査及び小学生調査では、平成 25 年度調査と比較して増加しています。